

## 荒川地区意見交換概要

日時 平成 30 年5月 17 日(木)

場所 荒川公民館

出席 31 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	<p>集会施設の再編で、公民館を修繕し活用していくとあった。荒川地区にとって公民館は重要な施設であり、ここは地区の歴史的にも大切な場所だ。この場所に集会施設を残して欲しい。閉所された荒川保育所を第三者に譲渡されることは不便なので、絶対にやめてほしい。公民館は、老朽化や漏水などの修繕、高齢者のためにバリアフリー化が必要だ。この場所には、公民館、保育所、荒川サロンがある。これら 3 つのどの施設を活用していくのかを検討してほしい。公民館を修繕し活用するのか、バリアフリーになっている保育所をリフォームするか、2 つとも老朽化しているので、2 つをスクラップし、荒川サロンにプラスして活用していくのかを考えてほしい。地区としては重要な施設であるので、慎重に 3 つの施設を考えてほしい。</p>	<p>参考にさせていただく。不要な施設は、ただ撤去するだけとは考えていない。スクラップアンドビルドで、利用しやすいようにしていきたい。検討させていただく。</p>
2	<p>メルヘンの街」ということで、メルヘン建築の施設が大変多くある。その施設も古いので、修繕や維持費にお金がかかると思う。メルヘン建築を今後も維持されていくのか、経費削減の部分も含めて、市の考えは？</p>	<p>メルヘン建築は、全国的にも有名で観光資源にもなっている。しかし非常に老朽化が進んでおり、修繕することも厳しい現状である。公共施設再編計画の中では、メルヘン建築も同じひとつの公共施設として仕分けを行う。メルヘンの定義は、これまでは、「メルヘン建築」となっていたが、新しいメルヘンの定義では、「大人から子どもまで街を歩けば、ワクワクして、メルヘンチックな気分になれる雰囲気のあるまちづくり」とした。</p>
3	<p>地崎地内に新駅を設置してほしい。高岡市内には、4 つも駅がある。福岡駅と石動駅の区間は長いので、途中で駅があっても良いと思う。新駅を設置することで、利便性が高まる。国道 8 号線、能越自動車道の福岡インターを利用することによって、金沢方面、能登方面、中京方面へも行ける。今後ますます公共交通機関を利用する社会になってくると思うので、立地の良さを活かし、交通アクセスをよくすることで、他市からの転入も期待できる。</p>	<p>小矢部市の高い交通の利便性を、ぜひ活かしていきたいと思っている。地崎駅については、数年前から要望されている。あいの風とやま鉄道では、新駅設置には乗車人数が 500 人必要とのことだった。乗車人数の 500 人を確保できるような施策をしていきたい。素晴らしいご提案なので、ぜひ夢構想に盛り込みたい。福岡料金所も廃止になり、荒川地区はポテンシャルが上がってくると思う。参考にさせていただく。</p>

No.	発言要旨	市長回答要旨
4	<p>荒川地区には市営バスが通っていない。デマンドタクシーがあるが、予約制である。高齢者にはデマンドタクシーの利用の仕方が理解されていないので、明日、荒川地区のいきいきサロンで生活協働課に説明してもらうことになっている。市営バスは、予約しなくても毎日通るが、予約しなければ来ないデマンドタクシーは、バスの代わりにはならないと思う。荒川地区も高齢化が増えてきており、免許証の返納などもあるので、市営バスの運行体制の充実を第7次総合計画に盛り込んでほしい。</p>	<p>デマンドタクシーは、タクシー会社の運転手の問題もあり予約制をとっている。非常に使い勝手が悪いとの声が各地区からあり、協議している。可能であれば、各地区に市営バスを走らせたいという思いはあるが、運転手の確保が非常に難しい。できないところはデマンドタクシーでお願いしているのが現状である。どうすれば使い勝手のよいデマンドタクシーになるかを議論しているところである。</p>
5	<p>人口の減少と高齢化が日本全国で大きな問題になっている。東京への一極集中化により、小矢部市のような地方都市はどんどん取り残されていく。これを考えたときに、公共施設の再編は、スピード感をもって進めることが重要だと思う。</p>	<p>公共施設の再編計画は、スピード感を持ってしていかなければならないという危機感は市も議会も持っている。しっかりと人口減少と財政状況を見据えて、できることからしていこうという思いである。</p>
6	<p>地崎地区は、学校から2km以上3km以内の地区なので、1、2年生はバスに乗り、3年生からは徒歩通学となる。地崎の1人の子は2年生で、3年生になると徒歩通学となる。その子の学校からの距離は2.9kmで、ほんの少しの距離で、徒歩通学とバスが分かれることになる。距離の見直しはできないのか？歩道がないところもあり一人で歩いていくのは危険だ。冬場などは、もっと危険なので、冬場だけでもバスに乗せてほしい。地崎のバス停は、冬場、中学生がバスを利用している。小学生は歩き、中学生はバス通学ということはおかしいと思う。学校に車で送迎しても、学校の横が渋滞し大変だった。バス通学にしたほうが安全だと思う。</p>	<p>持ち帰って検討する。スクールバスの距離については、国の基準があり、小矢部市も準拠している。国の基準が2.5kmになると、各市の基準は2.5kmになる。市単独で基準の変更は可能だが、財源の問題がついてくるので、財源との兼ね合いになる。しかし、実態に応じた対応をしていくことは、我々の務めであり、みなさんからの強い要望があれば対応していくことになる。中学生のスクールバス通学は、強い要望があり対応をした。中学生だけバス通学はおかしいというのは理解できる。国の基準でそういう距離数になっていることは理解していただきたい。</p>
7	<p>地崎のバス停は、となみ支援学校のバスも利用するようになった。今年は豪雪で、バス1台止まるにも除雪が大変だった。バスに乗る生徒の保護者や地域住民が除雪していた。除雪はどこへお願いすればよいのか。</p>	<p>除雪について、反省点などを集約し、庁内で議論しているところである。持ち帰らせていただく。できる限り対応していきたい。雪国に住む者にとって、除雪は最大の行政サービスなので、しっかりと対応していきたい。</p>
8	<p>石動駅折り返し運転については、春のダイヤ改正から朝7時5分発黒部行きが、平日運転、石動駅始発となり、多くの人が通勤、通学で利用されている。市長には、今後も引き続き、石動区間の列車が増便されるようお願いしたい。</p>	<p>石動駅始発7時5分発の電車については、本当に要望し続けたかがあった。増便については、あいの風とやま鉄道に引き続きお願いをしていきたい。</p>

No.	発言要旨	市長回答要旨
9	春休みに孫が来て、稲葉山の山頂レストランへ行った。山頂にあるパノラマの写真パネルに新幹線もアウトレットもなかった。更新されないのか？	稲葉山のパノラマの写真については、30年度の予算で対応し新たに作成する。
10	公共施設の統合で、要らなくなった施設をネットなどで売ることは、行政としてはできないのか。	基本的には解体か譲渡だが、メルヘン建築に関心がある企業などもあると思うので、売却についても検討している。大企業の社員寮や研修施設になってもよいと思う。
11	東部産業団地周辺は賑わっているが、ラミー跡地が暗い地区になっている。荒川地区は高齢者が増えていくので、買物難民が増えていく。荒川地区には農振地域もあるので、どのような計画がいいかわからないが、賑わいがあり生活しやすい荒川地区にしてほしい。	小矢部市の発展には欠かせない地区であるので、行政としても最大限の協力をさせていただきたい。
12	ラミー跡地の地権者の1人だが、賃貸契約は6月30日で終わる。土地がどうなるか説明がないので、わかっていることがあれば教えてほしい。	地権者が非常に不安になっていると市の担当職員が開発業者に話をしてきた。開発業者としては、借地権が切れたと全体説明会を開催したいとのことであった。いろいろな問題もあると思うが、市の発展には欠かせない場所なので、いろいろなものが整理された後、市としても最大限の協力をしていきたい。